

歴史的建造物の保存運動・利活用提案

＜新潟県副知事公舎（大正10年築の洋館付き住宅）＞

- 2004/9/17 新聞記事にて県が売却の方針を発表
- 2005/1/17 「副知事公舎の保存と活用について（お願い）」新潟県知事に要望書提出
- 2005/2/14 新潟県知事に活用提案書の提出
- 2005 新潟県が民間に賃貸借を検討公募し賃貸借確定
- 2006/11 ネルソンの庭としてオープン



＜旧斎藤家夏の別邸（大正7年築の近代和風住宅、地泉回遊式庭園）＞

- 2004頃 所有者の都合で存続の危機がささやかれる
- 2007/12/28 「旧斎藤家夏の別邸の邸宅と庭園の保全について（お願い）」新潟市長、新潟市議会議長宛に提出
- 2008/8～11 3回に渡る一般公開の運営（延べ5624名の入場）
- 2008/12 存続を願う署名活動（署名26,379名）
- 2009 新潟市議会へ請願提出していた公有化申請が議会で認められる
- 2009 新潟市が公有化
- 2012 指定管理者による公開の開始



＜峰村商店（幕末の町屋建築、昭和初期の蔵座敷及び庭園）＞

- 2013/7月頃 味噌等製造業を営む峰村商店が道路拡張により取り壊しの予定となる昭和初期（後日調査により幕末頃との事）の町屋建物及び後藤石水築庭園の中庭が有ると聞く
- 2013/9/19 「峰村家住宅・土蔵・庭園の移転再建築について（要望）」新潟市長に提出
- 2013/10/5 日本庭園協会新潟県支部・新潟まち遺産の会による庭園実測調査
- 2013/11/1 「地域住民に向けた見学会」の開催
- 2013/11/8 惜しまれつつ町屋建物及び庭園は解体される事となり庭園解体が始まる。
- 2013/11/11 主屋解体開始。土蔵は曳家され再活用の道をたどる。
- 2014/3 和僑商店が経営権を取得したとの新聞報道。販売所の改装工事を行う。
- 2014/9/3 新しい販売所で新規オープン 現在に至る



＜旧會津八一記念館（昭和50年築地元建築家設計によるモダニズム建築）＞

- 2013/8月 會津八一記念館がメディアシップに移転する事で、解体公園化の予定を知る。
- 2014/4/28 「建築見学会及び土地利用についての懇談会開催のお願い」要望書新潟市長に提出（JIA保存問題委員会からも保存要望書が提出された）
- 2014/9/11 「旧會津八一記念館解体事業の議決延期について（陳情）」新潟市議会に提出
- 2015/7 市が公募型プロポーザル方式による私有財産の売却（旧會津八一記念館）を発表
- 2015/7/30 民間企業が美術館として保全し活用するという事で落札
- 2016/5 新潟市ゆかりの作家美術館として開館（予定）



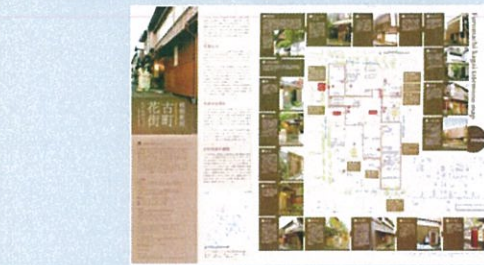
マップ制作・まち歩きの企画実施



「Niigata MACHIYA MAP 2005」2005.10発行



「まち遺産マップ異人池どっぺり坂界限」2006.05発行



「柳都新潟古町花街たてもマップ」2010.01発行



まち歩き風景

有形登録文化財登録申請のための調査・資料作成



イベント等開催



市民への啓蒙活動としてシンポジウム等開催

保存問題の最前線

町屋と民家に住み続ける知恵

「欧州浪漫漂う異人池西大畑 境界と洋館付き住宅」2004.04.10

「市民による町並み再生プロジェクト」2005.01.23

「町屋と民家に住み続ける知恵」2006.11.23

「保存問題の最前線」2008.8.27

「都市の美を考える 町並み・建物・庭園～新潟のガーデンタウン 西大畑境界の今とこれから～」2008.10.26

「町家の継承と活用 金沢に学ぶ町家の活かし方」2015.5.16

「緊急シンポ 旧會津八一記念館のこれまでとこれから」2014.11.16

「第1回 古町花街シンポ 再発見 湊町新潟古町花街の建築とまちなみ」2009.09.27

「まち遺産セミナー2012 新潟の近代建築に寄せて」2012.05.26

「まち遺産セミナー2014 風土と建築の存在～モダニズム建築の抱える課題、保存と活用～」2014.7.20

「ふるまち新潟をどり」にあわせた日本舞踊鑑賞講座

「お座敷体験」2010.09.25 他 花街イベントの一環として、一般市民向けに 芸妓さんを呼ぶお座敷を低価格で企画開催

<http://machi-isan.sakura.ne.jp/index.html>

▶ 活動部門

▶ 建築物の保存問題全般

新潟まち遺産の会

■ 設立主旨

新潟市は中心部が新たに町建てされてから350年以上の歴史を持つ湊町です。開発により古き良きものが失われていく中、新潟地域に残る町屋建築などの歴史的・文化的遺産が、積極的に保存、活用され、次の世代に継承されることで、新潟が歴史の感じられるまちとなる為の諸活動を目的に会は設立されました

■ 沿革

新潟市中央区東厩島町で、道路整備計画により解体の運命にあった町屋の移築支援活動を行った「町屋を生かす会」が、幅広く新潟の歴史的建造物をはじめとする「まち遺産」への啓蒙活動が必要と考え、発展的に会員制による組織として設立

■ 活動内容

- ・市民への啓蒙活動としてシンポジウム等開催
- ・マップ制作・まち歩き企画・・・古い建物の魅力紹介
- ・イベント等開催・・・古い建物の利活用、魅力紹介
- ・有形登録文化財登録申請のための調査・資料作成
- ・歴史的建造物の保存運動、利活用の提案

■ 会データ

設立 2004年6月 現在の会員数 約100名
事務局 新潟市中央区東堀前通1番町353 伊藤純一アトリエ内



・ 応募代表者名

新潟まち遺産の会 代表
大倉 宏

美術評論家
新潟県まちなみネットワーク 会長
認定NPO法人新潟絵屋 理事長
砂丘館 館長

・ 主要活動メンバー

- 副代表 **岡崎篤之** 新潟県まちなみネットワーク 副会長
全国町並み保存連盟 理事
新潟大学都市計画研究室 教授
- 事務局長 **伊藤純一** JIA新潟地域会 副代表
一級建築士事務所
伊藤純一アトリエ主宰
- 世話人 **澤村 明** 新潟大学経済学部 教授
- 事務局 **千早和子** 書籍編集者
- 世話人 **長谷川順一** 建物修復支援ネットワーク 代表
被災建物史料教授ネット 共同代表
建築事務所住まい空間研究所 主宰
- 世話人 **松井大輔** 新潟大学都市計画研究室 助教